

# 人権問題特集号

【人権尊重のまちづくりスローガン】

「自分が人からされたり 言われたりしていやなことは  
自分は人にしない 言わない。」

# 広報 ちくしの

## エスディーゼーズ SDGs (持続可能な世界を実現するために、 国連加盟国193か国が掲げた17の国際目標)

幸せになりたい  
自分らしく、自由に生きていきたい  
あなたも、わたしも、地球のみんなが  
願っている

でも、今、  
戦争や紛争の中で暮らしている人がいる  
自分には、どうしようもできないことで  
差別をうけている人がいる

ごはんが食べられない 電気が使えない  
学校に行けない きれいな水が飲めない  
病院に行けない イジメられている  
そんな子どものために何かできないのか

同じ地球にくらす人として  
私たちにもできることがある  
いつまでも住み続けることができる地球  
そんな場所にしていくために

未来の子どもたちのために  
自分ができることを探してみよう  
小さなことかもしれないけれど  
続けてみよう  
小さな力が集まれば  
きつと大きな力になっていく



目次	● ストップ!ワクチン差別	2
	● 「ただいま」「おかえり」と言い合えるまちに	3
	● 父を父でないと感じたとき	4
	● 無意識の思い込み	5
	● サッポロ・シシャモ・ラッコ	6
	● ユニバーサルデザイン	7



# ストップ！ワクチン差別

ワクチン接種に関する差別・偏見・いやがらせが起きています

## ！ 新型コロナワクチンの接種は強制ではありません

ワクチン接種は本人の意思に基づくものであり、病気など様々な理由でワクチンを接種できない人もいます。接種をしていない人に対する接種の強制はしないようにしましょう。

【ワクチンハラスメントの事例】



あなただったら…  
あなたの家族だったら…  
あなたの大切な人だったら…



新型コロナウイルス感染症に伴う生活不安やストレスから人権侵害の増加や深刻化が懸念され、医療従事者や感染者などに対するコロナ差別やワクチン接種に伴う差別など、ウイルスよりも人が起こした差別が広く感染しています。

筑紫野市はそれらを乗り越え、一人ひとりが安心して過ごせるまちづくりをめざしていきます。

「ただいま」「おかえり」と

言い合えるまちに

「シトラスリボンプロジェクト」とは？

『地域』『家庭』『職場・学校』を三つの輪で表す「リボン」を作り、身に着けたり、身近な人に手渡したりすることを通して、コロナ差別で苦しんでいる人々にエールを送り合う活動です。コロナ禍で生まれた差別や偏見をなくし、「ただいま」「おかえり」とそれぞれの暮らしの場で心から言い合い、誰もが笑顔で暮らせる社会を取り戻すために、

愛媛の有志から始まって  
全国に広がっています。

二日市中学校でも…

二日市中学校生徒会の生徒たちは、「シトラスリボンプロジェクト」に共感し、先ず学校で広げ、PTAや地域へ広げようと計画し活動しています。この活動を進めている生徒会のみなさんが、次のようなことを聞かせてくれました。

生徒会によるシトラスリボンプロジェクトの呼びかけ



【生徒会役員のインタビュー内容】

○現在おきているコロナ差別でとても苦しい思いをしている人を少しでも減らしたいと思い、プロジェクトを始めました。

○4月、全校生徒に「シトラスリボンプロジェクト」について伝えて、8月の平和集会の時、全校でシトラスリボンを作成しました。

○プロジェクトに関わって、コロナ差別やその他の差別について考える機会が増え、差別のおかしさに改めて気づくことができました。

○「シトラスリボン」の取り組みを通してみんなが共感し、コロナ差別をなくそうという意識が学校全体で高まったと思います。

ただいま

私たち一人ひとりの人権を大切にし、  
だれもが地域で笑顔の暮らしができる、  
そんなやさしさあふれる筑紫野市を  
みんなでめざしていきたいですね。

おかえり

## 父を父でないと感じたとき

### 〜認知症になった父と私〜

父は、認知症と肺炎のためなくなりました。10年目の法要を無事に終えた夜、夢を見ました。

父はまだ若く、私は小学生。鉄道好きの私のために、特急新型車両に乗り同行してくれました。私が喜んではいやいでいるところで目が覚めました。



父は退職後、何事もなく平穩に過ごしていました。

しかし、突然、深夜になると、

「買い物行かないかん。」  
「今何時ね?」「夜、11時よ。」  
「11時って何時ね。」



などと意味の分からないことを言うようになりました。

私は、そんな父を見て、父を父でない他人に思え、悲しくなりました。

母と相談し、父を病院で診断してもらった結果、認知症と診断され入院することになりました。私の頼もしかった父の面影はなくなりました。

やがて、私は、父から遠ざかるようになっていました。

「あなたもお父さんに顔を見せるようにしてね。」

「もう僕が知っているお父さんじゃない。」

お母さんにまかせるよ。」



父のことは母任せになり、母の負担はかなり大きいものになりました。

その後、父は認知症を患いながら肺炎を併発し亡くなりました。私が病院についた時には、父の穏やかに眠る姿がありました。

私は涙が止まらず、

「お父さんゴメン。お父さんは僕に何でもしてくれた。でも僕は、何もできなかった。」

父を父でないと感じて、私のことを誰かわからなくなっても、できることはもつとあった。せめてどこかに相談すればよかったと今思っています。



※認知症についての相談は

筑紫野市高齢者支援課へ… ☎(923) 11111  
担当の地域包括支援センターをご案内します。

## 無意識の思い込み (アンコンシャス・バイアス)

私たちは、看護師・保育士というと女性を思い浮かべたり、親が単身赴任と聞くと父親を想像したりしがちです。

また、血液型で、相手の性格を判断したり、「普通は〇〇だろう」や「それってあたり前」などと言ったりすることがあります。

このように、今までの経験や見聞きしたことに影響を受けて、自分でも気づかないうちに持つようになった物事の見方や考え方の偏りを、無意識の思い込み (アンコンシャス・バイアス) と言います。

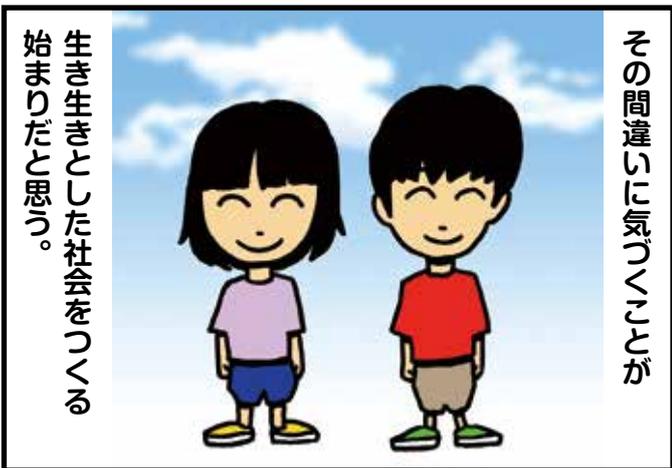
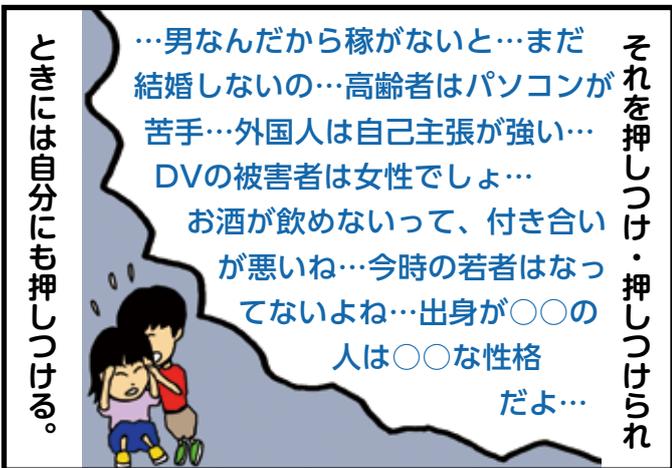
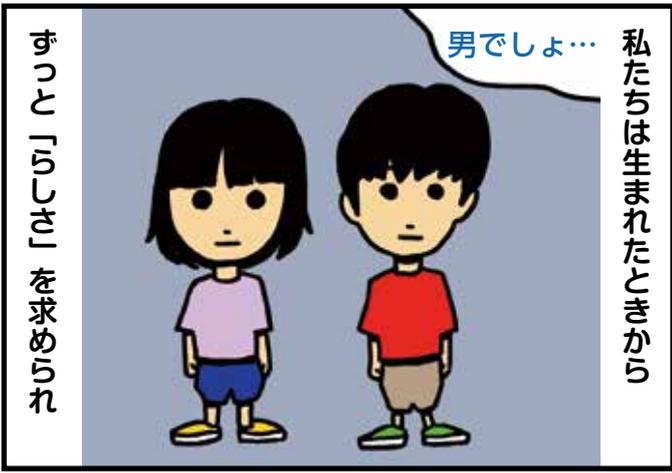
この無意識の思い込みは誰の中にもあり、普段の生活や会話の中にあふれています。

しかし、それは本人も知らないうちに、「こうあるべきだ」「どうせ無理だ」などといった決めつけや押しつけにつながります。

そして、それは相手の考えを縛ったり、活動の意欲を奪ったりするだけでなく、自分の物の見方や考え方を狭めてしまうことになりかねません。

大切なことは、私たち一人ひとりが、自分の経験や価値観だけで、頭ごなしに決めつけていないか、相手の気持ちを考えているか、日々の生活の中で、「立ち止まって考えること」です。

アンコンシャス・バイアスに気づくことは、より自分らしくあなたらしく生きていける社会をつくる始まりです。



## サツポロ・シシャモ・ラッコ 身近にあるアイヌ文化

ミナ：お母さん。アイヌ民族のことを取り上げたテレビ番組が、ニュースで問題になっていったんだけど？

母：それはね、アイヌ民族を取り上げた映像を紹介した時、差別する言葉が使われ、誰もおかしいと指摘できなかつたのよ。お母さんも、その場にいたら気づかなかつたと思う。その言葉がアイヌ民族を苦しめてきた言葉だと知らなかつたから。

ミナ：そうなんだ。やっぱり知ることが大切だね。

お母さんは、他にアイヌのことを知っているの？

母：そうねえ。アイヌ民族は、生活に関係する全てのものに神が存在すると考え、必要なものだけとって生活していたことぐらいかな。自然とともに生きるアイヌ民族は素敵だなんて思うわ。

ミナちゃん、もう少し調べてお母さんに教えてよ。

～次の日～

ミナ：お母さん、お母さん！自分の名前はどうかたと調べてみたら、アイヌ語で「笑う」という意味で、びっくりしたよ。

母：へえー。ミナという言葉が、アイヌ語にもあるとは知らなかつたけど、いつも笑顔のあなたにはぴったりね。

ミナ：うん。私も、もっとアイヌのこと知りたいな。まずはあいさつ。イランカラプテ（こんにちは）から始めようって。



※アイヌ語がもともとなっている言葉の一部を紹介します。



○北海道の市町村名のうち、約8割がアイヌ語に由来しています。別・内・幌がつくものも多くあり、それらはアイヌ語の【川】【沢】【大きい】の意味があります。

○アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するために、2019年に制定された「アイヌ新法」では、アイヌ民族を初めて先住民族であると明記し、差別の禁止を定めています。

## ユニバーサルデザイン 「だれもが暮らしやすいまちを」

いつでも・どこでも・だれもが使いやすいように

ユニバーサルデザインとは、障がいの有無、年齢、性別、民族などにかかわらず、だれもが使用しやすいように製品や建物、環境をデザインすることをさします。

筑紫野市庁舎は平成31年1月に完成しました。設計にあたり、だれもが利用することを目的に、ユニバーサルデザインを取り入れることに努めました。

その一部をご紹介します。



### 市役所一階「総合案内カウンター」

筑紫野市の総合案内は、市民の皆さんがわかりやすく、使いやすいように、工夫されています。

- 車いすの方に対応できるようにカウンターの高さが考えられています。これは、他の窓口のカウンターも同じです。
- カウンターの中に職員が立ち、四方を見渡し、一階に来た人の動きを把握しすぐに対応できるようになっています。



### 心のユニバーサルデザインを

このように目に見える「ところ」や「もの」も大切ですが「こころ」したらいろんな人に便利で安全だな」「これだと安心して使えない人がいるんじゃないかな」など、いつも自分の周りにいる人のことを想像してみることも大切です。そうすれば、多くの人がもっと豊かに暮らすことができます。はずです。

困っている人を見かけたら声をかけたり、そっと支援したり、他の人に寄り添い、思いをめぐらすことで自分から行動ができるようになると思います。私たちの意識は今からでも変えることができます。

私たち一人ひとりも「心のユニバーサルデザイン化」をめざし、だれもが暮らしやすいまち・筑紫野市をみんなでつくりましょう。

### 市役所の「みんなのトイレ」

- 手すりが設置され安全に使えるようになっています。
- 5カ国語で使い方の説明ができます。(1階と6階)
- 人工肛門・人工膀胱等を使用されている人が使いやすいように「オストメイト」対応になっています。
- オムツ交換台が設置され乳幼児を連れた人も安心して使えるようになっています。

# 広報ちくしの「人権問題特集号」 12月号アンケート用紙

(当てはまるものに○をつけて下さい。)

## ①「人権問題特集号」は…

- よかった
- まあよかった
- あまりよくなかった
- よくなかった

## ②心に残った内容は…

- 「ストップ!ワクチン差別」
- 「『ただいま』『おかえり』と言い合えるまちに」
- 「父を父でないと感じたとき」
- 「無意識の思い込み」
- 「サッポロ・シシャモ・ラッコ」
- 「ユニバーサルデザイン」

## ③感想をお聞かせ下さい。

---

---

---

## 人権問題特集号 アンケートのお願い

新型コロナウイルス感染防止のため、人権問題を考える市民懇談会を今年も中止しました。それだけに、今回の「人権問題特集号」は、市民の皆さんに人権問題について知って考えていただく大切な材料になると考えています。

つきましては、市民の皆様には是非読んでいただき、よろしかったら感想等を届けていただきますようお願いいたします。今後の編集に生かしていきたいと思っておりますので、趣旨をご理解のうえご協力を重ねてお願いいたします。

### ※アンケート回答の方法

- ① **F A X**: 上のアンケート用紙に記入のうえ以下の番号にFAX下さい。  
→筑紫野市教育政策課人権・同和教育担当：(092)923-9644
- ② **郵 送**: 上のアンケート用紙に記入のうえ以下の住所にご送付下さい。(12月25日まで)  
→筑紫野市教育政策課人権・同和教育担当：  
〒818-8686 筑紫野市石崎一丁目1番1号
- ③ **メール**: k-kyoumu@city.chikushino.fukuoka.jp
- ④ **筑紫野市ホームページ**:

以下の手順で「広報ちくしの 人権問題特集号」に入ってください感想をお寄せ下さい。  
「くらし・手続き」→「人権・男女平等 人権」→啓発冊子「広報ちくしの 人権問題特集号」  
※携帯電話・スマートフォン等で読み取るとアンケートページにつながります。



## 編集後記

コロナ禍、聴覚障がい者の方が、マスクのために相手の口の動きを読めず困っていることや、視覚障がい者の方が、店舗の閉鎖・時短のため街の様子が変わり大変困っていたことなどがテレビで報道されていました。思ってもいなかったことを知ってハッとさせられました。

私たちの身の回りにも、障がいをもった方・高齢者・病弱者・在日外国人の方々などがいます。このような人々の困り感を想像し、寄り添って行動していくことの大切さを改めて考えさせられました。

今回の「人権問題特集号」を自他の人権を大切に、安心・安全のまちづくりの推進に役立てていただければ幸いです。

2021年12月1日発行

## 広報ちくしの「人権問題特集号」

### ■編集発行

筑紫野市  
筑紫野市教育委員会  
筑紫野市同和教育研究会  
筑紫野市同和問題啓発資料編集委員会

### ■問い合わせ先

筑紫野市教育委員会教育政策課  
TEL: (092) 923-1111

### ■印刷 久野印刷株式会社